

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公表番号】特表2015-526151(P2015-526151A)

【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-522218(P2015-522218)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/00 3 4 3

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月5日(2016.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気道を持つ被験者に呼吸治療を提供するシステムであって、

前記被験者の気道に供給される呼吸可能なガスの加圧された流れを生成するよう構成される圧力生成器と、

前記呼吸可能なガスの加圧された流れの 1 つ又は複数のガスパラメータに関連付けられる情報を搬送する出力信号を生成するよう構成される 1 つ又は複数のセンサと、

処理モジュールを実行するよう構成される 1 つ又は複数のプロセッサとを有し、前記処理モジュールが、

前記被験者が第 1 の治療セッションの間に受けた呼吸治療の量を決定する順守モジュールであって、前記順守モジュールが、前記量が呼吸治療の閾値量を満たす及び / 又は超えるかどうかを決定する、順守モジュールと、

所定の治療法及び以前の治療セッションに関連する前記順守モジュールによる決定に基づき、治療セッションの間の前記呼吸可能なガスの加圧された流れに関する目標圧力を決定するよう構成されるターゲットモジュールであって、前記ターゲットモジュールが、前記第 1 の治療セッションに続く第 2 の治療セッションに関して、前記第 1 の治療セッションに関連する前記順守モジュールによる 1 又は複数の決定に基づき、前記呼吸可能なガスの加圧された流れに関する前記目標圧力を決定する、ターゲットモジュールと、

前記決定された目標圧力に基づき、前記呼吸可能なガスの加圧された流れの 1 つ又は複数のガスパラメータのレベルを調整するよう構成される制御モジュールとを有する、システム。

【請求項 2】

吸気の持続時間の統計分析を通じて前記第 1 の治療セッションの間に前記被験者の呼吸パターンにおけるランダム性の程度を決定するよう構成されるランダム性モジュールを更に有し、

前記順守モジュールによる決定が、前記ランダム性モジュールによって決定されたランダム性の 前記程度 に基づかれる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記順守モジュールによる決定が、複数の治療セッションの間に決定されるランダム性

の程度の間の比較に基づかれる、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

睡眠開始を検出するよう構成される睡眠検出モジュールを更に有し、前記ターゲットモジュールによる前記目標圧力の決定が更に、睡眠開始が検出されたかどうかに基づかれる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記被験者による飲み込みを検出するよう構成される嚥下検出モジュールを更に有し、前記ターゲットモジュールが更に、空気嚥下症を減らすべく前記目標圧力を一時的に減らすよう構成される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

気道を持つ被験者の呼吸治療に関する順守決定のための方法において、
前記被験者の気道に運ばれる呼吸可能なガスの加圧された流れの 1 つ又は複数のガスパラメータに関連付けられる情報を搬送する出力信号を生成するステップと、
第 1 の治療セッションの間に前記被験者が受けた呼吸治療の量を決定するステップと、
順守の決定を決定するステップであって、前記順守の決定が、前記量が呼吸治療の閾値量を満たす及び / 又は超えるかどうかに基づかれる、ステップと、
前記第 1 の治療セッションに続く第 2 の治療セッションの間に前記呼吸可能なガスの加圧された流れに関する目標圧力を決定するステップであって、前記目標圧力が、所定の治療法及び前記第 1 の治療セッションに関連する前記順守の決定に基づかれる、ステップと、
を有する、方法。

【請求項 7】

吸気の持続時間の統計分析を通じて前記第 1 の治療セッションの間に前記被験者の呼吸パターンにおけるランダム性の程度を決定するステップを更に有し、
前記順守の決定が更に、前記ランダム性の程度に基づかれる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記順守の決定が更に、複数の治療セッションの間に決定されるランダム性の程度の間の比較に基づかれる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

睡眠開始を検出するステップを更に有し、前記目標圧力の決定が更に、睡眠開始が検出されたかどうかに基づかれる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記被験者による飲み込みを検出するステップを更に有し、前記目標圧力が、空気嚥下症を減らすため一時的に減らされる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

気道を持つ被験者に呼吸治療を提供するよう構成されるシステムであって、
前記被験者の気道に供給するよう呼吸可能なガスの加圧された流れを生成する手段と、
前記呼吸可能なガスの加圧された流れの 1 つ又は複数のガスパラメータに関連付けられる情報を搬送する出力信号を生成する手段と、
第 1 の治療セッションの間に前記被験者が受けた呼吸治療の量を決定する手段と、
順守の決定を決定する手段であって、前記順守の決定が、前記量が呼吸治療の閾値量を満たす及び / 又は超えるかどうかに基づかれる、手段と、
前記第 1 の治療セッションに続く第 2 の治療セッションの間に前記呼吸可能なガスの加圧された流れに関する目標圧力を決定する手段であって、前記目標圧力が、所定の治療法及び前記第 1 の治療セッションに関連する前記順守の決定に基づかれる、手段と、
前記決定された目標圧力に基づき、前記呼吸可能なガスの加圧された流れの 1 つ又は複数のガスパラメータのレベルを調整する手段とを有する、システム。

【請求項 12】

吸気の持続時間の統計分析を通じて前記第 1 の治療セッションの間に前記被験者の呼吸パターンにおけるランダム性の程度を決定する手段を更に有し、
前記順守の決定が更に、前記ランダム性の程度に基づかれる、請求項 11 に記載のシス

テム。

【請求項 1 3】

前記順守の決定が更に、複数の治療セッションの間に決定されるランダム性の程度の間の比較に基づかれる、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 4】

睡眠開始を検出する手段を更に有し、前記目標圧力の決定が更に、睡眠開始が検出されたかどうかに基づかれる、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 5】

前記被験者による飲み込みを検出する手段を更に有し、前記呼吸可能なガスの加圧された流れに関する目標圧力を決定する手段が更に、空気嚥下症を減らすため前記目標圧力を一時的に減らすよう構成される、請求項 1 1 に記載のシステム。